

学校における性暴力被害とその解決への課題

——札幌裁判原告・石田郁子さんのお話から

内閣府は、来年度（2021年度）、高校生や大学生などを対象とした性被害の実態調査を実施する方針を打ち出しました。これは政府の性暴力対策強化指針にともなう取り組みの一環として行われるものですが、これに先立って行われた支援団体等への実態調査からは、教員やコーチなど学校関係者による性的被害の実態が明らかにされています。学校もまた性暴力とは無縁でなく、それどころか「指導-被指導」「教える-教えられる」といった力関係の中で、むしろその問題は長く隠蔽されてきたと言えます。

そこで本研究会では、教師と教育委員会に対して損害賠償請求裁判を闘ってきた石田郁子さんに、その経験を軸に話をうかがいながら、学校における性暴力被害とその解決の方途について検討します。自らの身に起きた出来事を性暴力だと認識することも、またそこから助けを求めることも困難な未成年者の性的被害について、その回復はどのように展望できるのか、またそのような被害が起きないようにするには何が必要なのか、一緒に考えていきましょう。

話し手：石田 郁子（フォトグラファー）

聞き手：辻 智子（教育学研究院）

司会：瀬名波栄潤（CAEP）

日程

2021年 1月13日（水） 18:15~20:00

開催形式

・ ZOOM(オンライン開催)

対象

・ 教職員、学生、一般

申込

- ・ 事前に申し込みが必要です。
- ・ 申込は右のQRコードからお願いします。
または、当センターHPをご確認ください。
- ・ 締め切りは、1月12日（火）16:00までといたします。

QRコード



研究会

主催：北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター

共催：北海道大学大学院教育学研究院 子ども発達臨床研究センター

北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

問い合わせ先

応用倫理・応用哲学研究教育センター事務局

Email: caep@let.hokudai.ac.jp

URL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>

Twitter: @caep_hu

